電友会四国連合会会報

第 15 号
76. 7

目　次

電友会の皆様へ……愛媛電気通信部長……二
四国の電信電話拡充計画について……四国電気通信局文書広報課……二
電退連総会開催……三
電友会四国連合会理事会開催……三
恩給・年金額改定法成立……四
共済会だより(二)……四
第七回南予在住者懇談会……四
春の叙勲……五
表紙のことば……五
余栄・訃報……五
随　筆……六
短歌・俳句……七
会員消息……八
編集後記……一二

大元新平　須賀田初子
重松郁郎　市原　功
米田　弘　湊　正男
植松利秋　内原寅吉
新開　勇　藤本　勝
三河次郎　小野英雄
酒井秀雄　山内旬一
木内正一　篠浦辰正秋
原　重雄　松尾寅雄

電友会の皆様へ

愛媛電気通信部長
守家一夫

電友会の皆様、風薫る美しい季節となりましたが毎日お元気でお過しのことと思います。若草ビルから眺める城山の青葉が鮮やかな色彩をていしております。

この一月愛媛通信部長を命ぜられ着任したのがつい昨日のような気がしております。着任早々電友会四国連合会会長の泉さんにロータリクラブ入会の紹介の労をとっていただき、毎週クラブの会合でお話する機会をもっております。話題はしばしば公社を退職されてから地域社会の世話役としてご活躍をされている電友会の皆さまのことにおよびます。原稿依頼を機に電友会会報をじっくり拝見させていただきました。

会員の皆さまの公社退職後の生活が、地域社会でのご活躍の状況やら、植木、俳句、旅行、ゴルフなど豊かな趣味のなかの余生などいろいろな角度で浮き彫りにされており、大変感銘をうけました。また公社退職後何年たっても、電友会四国連合会会員という暖かいきずなで結ばれていることに後輩の一人として非常に意を強くいたしました。

さて愛媛通信部管内の近況について報告をさせていただきます。まず加入電話数ですが、愛媛県内の加入電話数がこの三月二十九日ついに四〇万を突破しました。昭和二十七年公社發足時は僅か二万加入であったのが、四十三年に一〇万、四十七年に二〇万、四十九年に三〇万、今回四〇万突破と、急速に増加のペースを早めました。この結果、一〇〇人当り二七・二台に普及し、昭和四十五年頃には四万六千を数えた積滞も、この三月末には約四千と減少いたしました。

一方これと呼応して、申し込みから架設までの期間も大幅に短縮されました。地域によって多少の差はありますが、愛媛県内の平均で一か月程度となっております。特に松山、今治、新居浜などでは二週間程度とスピードアップし「申し込んでもつかない電話」というイメージは一掃されつつあります。

つぎにプッシュホンやキャッチホンなどの新サービス商品の販売状況ですが、プッシュホンについては昭和四十七年松山でのサービス開始を皮切りに、順次提供地域を拡大し、現在県下のほとんどの地域が提供可能となっております。またその数も三月末で約一万に達しました。通話中に他の加入者からの着信機能ができることを売りものにしたキャッチホンのサービスは松山ほか五都市で実施しておりますがこの一月末で、その数は五四〇に達しました。

自動改式の関係ですが、今年に入り一月に一本松、三月に日吉、新宮、五月に渓筋が改式しました。五十一年度は広田ほか七局が計画されており、三月末現在で県内の自動化率は九九・二%となり、オール自動化の日も今一歩の所まできました。

最後になりますが電電公社をめぐる経営環境は極めて厳しい状況下におかれております。公社と地域社会のパイプ役として電友会の皆様の助言、意見などを私ども後輩にぜひおよせ下さるようお願いいたします。

電友会の皆様の今後のご健康と、ご多幸を心からお祈り申し上げます。

四国の電信電話拡充計画について

四国電気通信局文書広報課

昭和五十一年度の四国における電信電話設備拡充計画の概要は次のとおりです。

◎一般加入電話
一〇〇、〇〇〇（昨年度一二五、〇〇〇）
県別内訳

愛媛	三五、二〇〇
香川	二八、〇〇〇
徳島	一七、四〇〇
高知	一九、四〇〇

五年連続して一〇万以上の販売となっており、本年度も大半が住宅用電話の販売になります。

◎ビル電話
すべての需要に応じます。

一般加入電話、ビル電話等の増設により五十一年度末の加入電話数は約一一八万となり一〇〇人当り二九個の普及となる見込

です。また住宅用電話の占める割合は約六二％になるものと予想されます。

◎公衆電話
　プッシュ式一〇〇円公衆電話三〇〇個、おへんろ公衆電話一〇個など終日利用ができる公衆電話を中心に一五七五個（昨年度一四八七個）を増設します。これにより五一年度末には二四七〇〇個、一〇〇〇人当り六個の普及となります。

◎ＰＢＸ
　公社設置を希望するものにはすべて応じることとし内線電話機四五〇〇個（昨年度五〇〇〇個）の販売を見込んでいます。

◎テレックス
　二六〇個を販売します。（昨年度二二〇個）

◎プッシュホン
　八〇〇〇個を販売します。（昨年度九〇〇〇個）
　本年度は東予市、豊浜町、阿南市、須崎市など四市九町で販売を開始します。

◎ホームテレホン。ビジネスホン。親子電話
　四五四〇〇個を販売します。（昨年度三九〇〇〇個）

◎キャッチホン
　一〇〇〇個を販売します。（昨年度六〇〇個）

◎電話ファックス
　一〇〇個を販売します。

◎データ通信
　販売在庫管理システムサービスを三〇端末、科学技術計算システムサービスを一〇端末、販売します。

◎ポケットベル
　四九〇〇個を販売します。（昨年度六七〇〇個）

◎ダイヤル化
　五一年度中にサービス開始する局は次のとおりです。
　愛媛　溪筋、直瀬、磯津、柏、嵐、広田
　香川　与島、広島、本島、伊吹、琴南、美合
　徳島　上勝、出合、木沢、口山、阿南椿
　高知　大崎、池川、名野川、三原、橘浦、地蔵寺、大久保、江川崎、大宮、
　この結果五一年度末に四国では約八二％がダイヤル式局となり、ダイヤル化率は約九九％となります。

◎そのほか今治―壬生川間のマイクロウエーブ回線工事や、宇和―宇和島間の同軸ケーブル回線の工事を実施します。

電退連総会開催

　電電公社退職者団体連合会の第七回総会が去る五月十九日東京中央区銀座京橋会館で開催され、当会からは泉会長が出席した。
　同会においては、昭和五十年度の事業報告、決算報告が承認され、昭和五十一年度の事業計画、収支予算が審議決定された。

　昭和五十一年度事業計画

　本会は会員相互の連絡親交を密にし、電電公社退職者の生活の安定、福祉の増進を図り、あわせて電信電話事業に寄与せんとする会の目的達成のため、本年度においては特に下記施策の推進を図るものとする。

一　恩給・共済年金受給者の処遇改善に関し、前年度に引続き関係方面に陳情運動を展開する。これが為必要あるときは僚友団体と緊密な連繋をとる。
二　共済年金額が上薄下厚的に改定されるに伴い年金額改訂通知書には、その算出の基礎となった仮定俸給年額を記載するよう要望する。
三　生存者叙勲の範囲拡大について要望する。
四　現行医療共済制度の下では、部内医療機関のない地域ではその恩恵に浴し難いので、この救済案につき引続き検討する
五　共済会の生活援助制度について医療共済制度におけると同様、公社発足前の退職者をも対象とするよう要望する。
六　電退連の法人化について検討する。

電友会四国連合会理事会開催

　昭和五十年度第四回理事会を去る三月二十三日四国電気通信局別棟会議室で開催し、会務運営につき左記事項を協議した。この会議の中で、新任の江口通信局副局長からごあいさつがあり、最近の電話状況について川船文書広報課長から、ご説明があった。

1　五十一年度総会の開催地について
　高松市に於て開催することに決定した
　（日時場所等は次号でおしらせします）
2　電退連五十一年度事業計画策定資料の提出について
3　五十年度の状況について
4　五十一年度年金の改善方向について
5　会員名簿の発行計画について

昭和五十一年度
恩給・年金額改定法成立

昭和五十一年度恩給・年金改定法案は去る三月衆議院を通過し参議院で審議待ちであったが、五月十四日参議院本会議で全会一致で通過成立した。年金額の引上げについては、恩給における措置にならい、その年金額の算定基礎となった仮定俸給を昭和五十年度の公務員給与の改善内容を勘案して、次表の通り上薄下厚的に引上げ七月分から実施される。

仮定俸給年額	増額指標
六五二、〇〇〇円未満	11.5%
六五二、〇〇〇円以上 八六一、五三八円未満	9.0% ＋ 一六、三〇〇円
八六一、五三八円以上 一〇二、四三九円未満	10.3% ＋ 五、一〇〇円
一〇二、四三九円以上 三、〇四五、〇〇〇円未満	6.2% ＋ 九一、三〇〇円
三、〇四五、〇〇〇円以上 三、三二八、五七一円未満	4.2% ＋一五二、二〇〇円
三、三二八、五七一円以上	0% ＋二九二、〇〇〇円

なお長期在職の老令者等の年金算出率の特例・遺族年金の給付水準等についても大体恩給における措置にならって改善される。

共済会だより（二）
退職者、遺家族のお幸せを願って

電気通信共済会では、電電公社等に永年在職された方や、その遺家族の中で生活にお困りの方を、援助し自立更生ができるようお手伝いすることを、目的の一つとして、生活援助制度、医療共済制度、育英制度および肢体不自由者更生施設の利用あっせんなどに、積極的に取り組んでまいりました。今回は、生活援助制度についての概要を、お知らせします。

1 生活援助の取扱状況

四十六年度にこの制度が実施されてから、五十年度までの相談件数は七一三件で、そのうち援助件数は一一五件におよびました。

2 生活援助の対象

生活保護法による最低生活費の一倍半以内の方になります。例えば、松山在住の六十五才以上で一名病弱の夫婦の場合、月収七万五千円以下の方が対象となります。

しかし年令、性別、居住地等により、最低生活費の額が変わりますので、これは一応のめやすと云うことになります。

3 援助の種類

(1) 職業補導費の給付

生業に関する技術を修得するため、職業訓練法に基づき訓練所に入所されると、年間五万円を限度に必要な費用が援助されます。

(2) 生活補給費の給付

生活保護法による最低生活費の一・三倍以内の方に、生活維持のため必要な生活費の一部が援助されます。

(3) 特別補給費の給付

生活保護法による最低生活費の一倍半以内の方で、次のような特別な事情がある場合援助されます。

ア 傷病、事故などで生活にお困りの方に　五万円以内

イ 一年以上疾病または老衰のため床についている方に五万円以内

ウ 身寄りがなくひとり暮しの七十才以上の方に毎月五千円以内

エ 七十才以上の方に敬老見舞として一万円以内

4 更生資金

生活保護法による最低生活費の二倍以内の方へ次のような資金をお貸しします。

(1) 住宅の補修などを必要とされる場合に三十万円以内

(2) 店舗の設備、整備などを必要とされる場合に三十万円以内

(3) 医療費にお困りの場合に十五万円以内

この更生資金は六年以内に元金を完済し、月〇・二%の利息が必要です。

（電気通信共済会四国支部福祉相談所　電話松山（〇八九九）二一―九五三一）

第七回を迎えた
南予在住者懇談会

去る者は日日にうとしとか。在職中は先輩友人問わず公私共に接触の多かったわれわれも退職後は日一日と疎遠となり、年一度の電友会総会での交歓では物足らず南予だけの会合を始めてから七年になります。

第一回の開催の昭和四十五年には会員数三十二名で出席者も僅か十七名でしたが現在では会員数も五十七名に増加し、本年は三十名の出席者がありました。開催地も従来は八幡浜、宇和島の二ケ所でしたが本年は大洲市の城山で四月四日に櫻花爛漫の下で心ゆくまで旧交を温めることができました。

又大洲電報電話局長さんが現在の電話状況について詳しく説明をして下さいまして会員一同在職時代を思い返しなつかしく大変うれしく思いました。そのうえ大洲、八幡浜、宇和、宇和島、御荘の各報話局長さんより格別の御厚情をいただきましたことを厚く御礼申し上げると共に今後のご発展を心からお祈り致す次第でございます。

（南予地区代表幹事　玉川利満）

○　本年度にはいって九三名の新規入会者があり六月一日で九二四名の大世帯となりました。（　）内は新規入会者数です

愛媛三九二（四二）香川二二五（二五）徳島一三八（一〇）高知一六九（一六）

春の叙勲について

昭和五十一年春の叙勲に左記の方々が多年にわたり電信電話事業に貢献された功績により叙勲の栄に浴されました。私共一同心からお喜び申し上げます。

勲四等旭日小綬章
（内藤　久応殿（松山））

勲四等　瑞宝章
高橋　元一殿（高松）

○電気関係功労者の表彰

去る三月二十五日の電灯九八周年電気記念日に満八十才以上で、多年電気関係事業の発展につくされ功労のあった次の方々へ、社団法人日本電気協会から感謝状および記念品（会津塗朱三重木杯）が贈られました。まことにおめでとうございました。

沖永　唯男殿（高松）
庄野為三郎殿（徳島）
山本　正清殿（高知）
西田　綱勝殿（南国）

○電気通信協会賞受賞

電気通信協会（網島毅会長）では、去る五月二十日電友会四国連合会長泉節太郎氏に対し、「第十七回電気通信協会賞」を贈呈した。同協会賞は、わが国電気通信事業およびこれに関連ある事業に多大の貢献をした人々に対し贈呈されるもので、泉会長の公社在職中の功績と退職後も四国電話印刷株式会社社長として電気通信事業の発展に多大の貢献をしておられることにより受賞されたものであります。まことにおめでとうございました。

表紙のことば

夕　顔　　荘野　丹秀（内海）

夏の草花で私の好きなものは、夕顔です。たそがれのなかにほのかににおう白い大輪がうす墨の夕やみにぼんやりと浮んで見える姿は、夏のうす着の粧をした美女のようで　日本画によい題材です。

余　栄

ご逝去されました左記の方々に対し多年電気通信事業に貢献された功績により叙勲がありました。

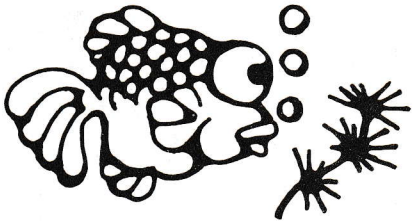
正七位勲六等瑞宝章（五〇、一一、一）
故　渡部　隆義殿（松　山）
勲　八　等　旭　日　章（五〇、一一、八）
故　西原　軍平殿（松　山）
従六位勲六等瑞宝章（五〇、一一、一四）
故　浦辺　新吾殿（三本松）
従七位勲六等瑞守章（五〇、一二、一〇）
故　鈴木清四郎殿（松　山）
従五位勲四等瑞宝章（五〇、一二、一一）
故　百田　勝殿（松　山）
従六位勲六等瑞宝章（五〇、一二、二五）
故　竹村　辰猪殿（高　知）
勲　八　等　瑞　宝　章（五一、一、三）
故　日道　盛行殿（八幡浜）

訃　報

次の方々が亡くなられました。謹んで哀悼の意を表します。

氏名	死亡月日	行年	所属
江東　利保殿	51・2・28	七九	鴨島
藤原和三郎殿	51・4・4	六四	阿波池田
伊藤　実殿	51・4・29	七八	室戸
光家　輔一殿	51・5・26	七一	善通寺
金原　巌殿	51・5・30	七三	今治

随筆



花の半日コース

栗田　信雄（松山）

去年の連合会会報四月号に「花の半日コース」として常信寺→西法寺→潮見温泉のコースを紹介したところ、さっそくこのコースを歩こうとの要望があったが風邪引きのため一年延期し、この四月四日に実行した。

当日はすこし花冷えが残っていたが快晴に恵まれ山歩きには最適の天候であった。総勢十四名、一組のご夫婦と古稀に近いご婦人も参加。先づ常信寺に行く。桜は満開。県の史跡に指定されている松平定行と定政の霊廟と定昭の埋髪塔を見てから山門を出て山道にかかる。ご婦人は路傍のワラビを摘むなどしてたのしそう。歩くこと一時間半余り、瀬戸風峠を通り伊台に入り西法寺に詣る。伝説の薄墨桜は三分咲き、日当りのよい本堂の回廊にござを敷き、あるいは花の下の芝生に腰をおろして昼食をひらく。なかには酒を交わす人もあり小一時間休んで潮見温泉に向う。ここから道は平坦な下りとなり一同ほっとした気で歩く。潮見では花の下空地という空地は花見客で超満員、よくもこれだけの人と車が集ったものだと驚くばかり。右手の丘陵には桜に交り桃の花が色を添えている。温泉が廃止になっているので素通りして姫原に入る。わが国文献に残る初めての悲恋といわれる軽太子と軽大郎女の伝説を偲びつつ歩を運び護国神社についたのは三時半過ぎ。

「熟田津に船乗りせむと月待てば
　潮もかなひぬ今は揚ぎ出でな」

の額田女王の歌碑の前で萬葉の昔を思いながら一休みして解散。

日頃歩きそめない人には今回のコースはすこしむりであったかと思われたが反面これで各人の体力テストができたと思われ、花を楽しんだより以上に意義のある一日であった。

アウトサイダー

田中　義隆（松山）

電電公社嘱託として、債券相談役を六年間勤めてきた。その委嘱が、この三月で満了した。無職の、自由人間になったのである。

これまでは、まだ仕事のできぬ年でもないから、次の仕事口をみつけたいと思っていた。それがこの不況だ。かつての求人難が、いまは求職難になっている。それにつぶしがきかぬ事務屋では、どだい無理だろう。

ということで、無職渡世がまだ板についていない。むろん渡世人のバク才がないから、りちぎに支出を制するしか、生き延びようもない。だから値上げの引き金になる賃上げには困る。そのための違法ストは、なお困る。新聞を読んでいて、腹が立つ。

四月はじめに、一男五女の家族――息子夫婦に娘たち夫婦と、ゼロ才から高校卒業までの孫たちの二十余名――が全員集合し、取りまぎれていた私たち夫婦の還暦祝いと、私の退職慰労の会を催し、そこへ招待された。還暦にちなんだ澁い朱色のハイネックセーターを着せられて、気持よく飲んで気持よく歌った。まったく仕合わせだった。

こうして、まずは退屈していない。かって一と花咲かせたことのないのに、これから一と花咲かせられるはずもない。自分なりに生きていきたい。ポンコツのアウトサイダー（余計者）でも、胸を張っていきたいと思っている。

蝦夷（えぞ）の旅（二）

藤田　基孝（松山）

「礼文島は海岸より全島一面に高山植物を以て被われる奇しき島なり」と土地の識者は言う、私もそれを信じて今日はその群落を見るため桃岩に一歩足を進めた。

青草に被われし巨岩が桃の形をしているのでその名があり、雪解けと共に一斉に萌え出で、伸びるのを待ち切れぬ様に咲くハクサンチドリの濃紫、ピンクのチシマフーロー、黄色のレブンアツモリ等、植物の種類は五百種以上といわれ、咲きほこる花の群落は足のふみ場もなきほど全山に拡がり、その景観は全く驚きであり、老いし私を有頂天にさせてしまった、勿論天然記念物だから持ちかえる事は許されない。

桃岩から南々東に眼を転じると遥か海上に雪を被りて毅然とそびえ立つ美しい利尻岳が見える。裾野を深く日本海に没入させ、海岸線からそのまま頂上に至る一七一九メートルの全裸を海上に浮かせた富士の姿は、実に美

麗で見応えのある山だった。

桃岩から西に降りればメノーが拾えると言う元地海岸だが先を急ぎて行かず、思い出多き礼文島を後に、船で利尻島に渡る。

船の着いた鴛泊港では漁夫の背丈程もある大蛸を見たが、このあたりどの家も軒一杯に魚の乾物が吊されてあり、又荷揚場に積まれし高知産のトマト、ピーマン等の野菜物にはひどく親しみを感じた。

目の前にぐっと迫る利尻富士の裾野を海岸に添って半周し、夕刻沓形の町に着く、利尻岳の斑雪は夕日に赤く染まり、磯の道にはエゾカンゾーが黄に咲き乱れ、駒鳥はその花の上を余韻嫋々と鳴き渡って行く、私は夢心地で昏るるまでさまよい歩いた。

翌朝心を残しながら利尻を去り海上三時間で稚内に戻りバスにて宗谷岬に向う。

その昔、間宮林蔵が樺太に渡りしと伝う浜辺を通り、日本最北端の地大岬に降り立つ。

遥か水平線上かすかに見ゆる陰影は果して吾が恋うる樺太なりや、心を静め見つめて居ると三十年前に「これが最後です、さようなら、さようなら」と悲痛なる声に絶叫しつつ彼の地に果てし電話交換手等のいたましき声が今も聞こえて来る様に思え、私は思はず眼頭をそって拭いたのであった。

日本の最北端を標す高き標柱の三角形の中に白き巡視船が一つ浮んで居たのが印象に残る。ふと見ると足もとの渚に白く晒れし一本の流木があり、拾い上げて見れば私の杖に最もふさわしく思えたので、以来片時も手離さず私の旅の友とし、現在も大切に持って居る。感慨深き大岬を引返し椎内公園に行く、瑞々しく大虎杖の茂る丘の上に黒き大理石の碑が建ち、碑面には前に述べた樺太の交換手等が内地の同胞に血の出る思いで叫びかけし最後の言葉が深く刻まれ、その傍の浮彫に再現されし処女の像に私は再び強き慟哭を覚えると同時に、永年勤めし昔の私の職場を思い出して居た。（つづく）

小さなたのしみ

玉川都夢（松山）

趣味は？ときかれたら即座に俳句と気ままな小旅行と答える私です。

最近私達仲間の小グループに相当な年輩のご婦人が二名参加してくれました。お二人とも俳句をはじめられて日もまだ浅い方です。

「こんな楽しいことを覚えて――」といったり、また「句会の日が待遠しくて――」と眼をかがやかされたりしていられます。親切な先生のご指導で句会毎に上達してゆかれるのをみて心温かく思っています。

年をとってのたのしみ、生甲斐とは何でしょうか。むずかしいことは別として、結局、その日、その日を充実させて送ることではないでしょうか。今日を大切に、毎日をすごすことではないでしょうか。

老いてゆくにつれて人は心を閉ざし、過去にのみ、その人生を見ようとします。その心を開き、眼を外に向けるようにさせることは何より大切です。

炬燵の老人を縁側の日向まで、さらに戸外の太陽の下に立たせるようにすることが大事です。

句を作るということは創作です。それが立派だと云われるものでなくても、みずから小天地を創り出すよろこびです。その意味で積極的、老いがたき精神がその中におのずと養われるのでないでしょうか。

短歌

悲しき思ひ出

藤田基孝（松山）

燃ゆる街の炎に赤きB29を一瞬美しとこの眼に写りし

職場燃え病む子も燃ゆる家に在り空襲の夜のわれきはまりぬ

子らを思ひ炎の中を引きかえす戦災の職場にこころ残して

戦災の職場見捨てしと苦き誹謗友よりきいて今もくるしき

街頭にもらひし握り飯抱き妻や子を焼跡にもとめ呆然たりき

俳句

水ぬるむ

上田南堂（松山）

窓ガラス拭きて三坂の雪景を

土手歩くことのたのしさ日脚伸ぶ

毬を追ふ子を追ふ母や水ぬるむ

夕東風に逆らひ妻の顔歪る

蓬摘む妻にしたがひ摘み歩るく

会員消息

大元新平（西条）

一　六八才　四二年退職
二　電気通信共済会から公衆電話清掃業務を委託されています。また次の団体の役員として老後の地域奉仕をしています。
交通安全協会・防犯相談所長・伊曽乃神社氏子総代・自治会・老人会。
三　家族状況　妻　健在
長男　日本ヂスク工業勤務
妻　西条倉敷工場勤務
二男　角野中学校教員
妻　西条西中学校教員
三男　川之江南中学校教員
妻　金生小学校教員
四　趣味　旅行が好きでいつも団体旅行のリーダーをつとめています。
五　健康状態と健康方法　至って健康です。早寝・早起をモットーにしています。
六　昭和一七年七月から約一年間占領地有線通信応急装備の為南方地域に従軍した思い出が昨日のように思われます。

須賀田初子（松山）

一　六一才　四八年退職
二　電気通信共済会四国支部福祉相談所勤務
三　家族構成
松山には夫婦のみ。子供は男子一人だけで独身。東京に就職している。
夫は胸部疾患で療養中
四　趣味
お茶・園芸・和裁・俳句、川柳を少々。
五　健康状態
まずまず。初老ぶとりになやんでいます。
六　思うこと
億の金欲しがりもせず暮らす幸。

三河次郎（丸亀）

一　六四才　四五年退職
二　現在の仕事
療養中のためなし
三　家族構成
妻と二男および三男の四人暮し
なお長男は通信局勤務単独赴任している。
四　趣味
魚釣であるが腰痛のためやめている。
五　健康状態
退職直前腰椎変形症となり療養の結果快方に向い、退職後引続き公社部外折衝部門の嘱託をしていたが、四八年九月突然ツイカンバンヘルニアとなり起居にも事欠くようになり一年半程就床した。最近はやや快復し、年一回の電友会総会と電気通信記念日の招待には出席できるようになりました。
六　その他
好きな晩酌もできるだけ控え長命を保ちたいと思うのだが仲々できにくい。

小野英雄（観音寺）

一　六四才　四五年退職
二　近況
六年前の四五年五月二十日に退職しました。その間線路工事関係ばかりで四十一年間お世話になりました。退職後通信建設会社から再三入社のすすめもありましたが、通勤するのが大儀でことわり、今では単契の仕事をぼつぼつさせてもらっています。
三　家族構成
妻と次男夫婦、それに三女の五人暮し、次男は線宅課へ三女は運用課でお世話になっておりますが内孫が未だないのがさびしいのですが頑張ってもらいたいものです。
四　趣味
別にありませんが第一が魚釣、旅行、四国霊場巡拝等仕事を止めたら歩いて巡拝したいと張切っています。
五　健康状態
毎日朝早くから仕事に出るせいか何んとか元気でやって居ります。
六　その他希望意見
早く物価が安定して年寄りが仕事に出ずとも食うて行けるようなご時世にしてもらいたいと願うものです。

重松郁郎（松山）

五九才　五〇年退職
昨年五月永い間お世話になった公社を退職させて頂き、現在は上司の方のお世話になって施設部で前職に引きつづいて七月から部外折衝業務の嘱託として建設工事の推進のため少しでもお役にたたせて頂き、永い間お世話になった公社に対して万分の一のお礼ができればとの念願のもと毎日元気で頑張っています。
最近、戦後二十年間通いなれた（十年間は鳴門、松山で勤務のため不在）高縄山の麓風光明媚な公害のない風早の里の生れ故郷へ

私達家族一同の悲願ともいうべき、ささやかな新居の建築のおかげを頂き、北条の地へ十年振りに帰り旧知の方々となつかしく昔話に花を咲かせて歓待されています。

現在は、昔なつかしいＳＬ列車の面影もなく、ディゼルカーにゆられて朝な夕な若い人や旧知の人と楽しく語らいながら松山の地へ足をはこんでいる今日この頃です。

おかげで、局の人々や周囲の人達の暖いたわりを頂きながら毎日を元気で楽しく仕事に精を出しています。

年をとると足腰から弱ってくると聞いておりますので北条へ帰ってからは、松山駅から局まで片道約二十分間を往復とも歩いて通うこととして毎日テクテクと歩いています。この歩くことは自分のためであるのでこのことは何時までもつづけて健康でありたいと願いを新にしています。

テクテクと歩いてみると元連隊跡の堀端の桜の花もめでることもでき、又サツキもぼつぼつ咲きはじめている自然の息吹きを肌で感じ、自然の力の偉大さをつくづく思い知らされます。これも歩くことの余徳であると思います。

生きている間は、少しでも世のため人のためお役に立つ人になりたいと願いを新にしています。

市原　功（高松）

一　七十才　昭和三九年退職

二　現在の仕事

仕事と云うより季節労務者と云った方が適当かも知れません。というのは私の実妹が菓子製造販売業を営んでいるのですが家族に病人があった事と常時職人を雇うことは小企業では難しく、かと云って忙しい時だけ来てくれる人はあっても仕事にならず結局私が応援する事となった。

製造は祝儀用佛事用の菓子饅頭類一切、春秋の大安吉日ともなれば注文殺到猫の手も借りたい始末、一日に三笠を一、三〇〇個も私一人で焼いたことも幾度か、勿論徹夜仕事、もう六年選手で今のところヘボ職人と云うところでしょう。

三　家族状況

長男夫婦と孫二人、それに妻との六人家族、にぎやかな毎日です。

四　趣　味

本心はやりたくない老人クラブ、納税貯蓄組合、自治会、防犯連絡所等の雑用に追われ案外多忙なため年に日帰を含め五、六回の旅行をたのしむ程度。

五　健康状態

腰痛があるが動作には余り差支えない。

六　希望意見

後に続く退職者に引続き医療について共済組合員の扱をして慾しい。

酒井秀雄（宇和島）

一　六二才　四七年退職

二　健康です。地方に住んでいるので勤め先はありませんがそれでよいと思っています

三　家族状況

三人の子供もそれぞれ成長し、長女は松山で、長男は立川、次男は神戸で生活していて現在は妻との二人暮し、電電公社が社会的にも人気がよいので退職しても元公社職員であったことを誇りに思っている。

四　趣　味

在職中は機械屋のため、技術革新に追いまわされ趣味までの余裕もなかったが三年前に公民館主催の楽焼講習会に参加したのがきっかけとなり、気の向くままに粘土と遊んでいる。会に入り月一回男女大勢で焼いている。

形を作り素焼をし、くすりを塗って本焼をするが最後に窯から火の玉となった作品を引出し、それが次第に冷めて本当の姿を現わすその少しの時間に今までの苦心が報われるかどうかが決るのです。楽焼は二度と同じものは焼けないものなのです。抹茶茶碗に適し、手軽にでき楽しいものです。皆さんも思いついてみませんか。

五　健康状態と健康方法

健康保持のため歩くこと。又小さい親切運動に勇気を出して実行することにより自分も倖せになるのだと信じております。

山内旬一（松山）

七十才　三九年退職

年とともに歳月のすぎゆきの早さが身に沁みます。退職して早十二年とはうそのようです。家は二人暮らしで家内はお茶やお花の友達との交友に没頭しています。

私は囲碁を友としたく四十一年に囲碁道場をはじめてこの十一月で満十年です。一日に十人から二十人ぐらいの人と対局してたいてい二十局以上うってその中に笑もユーモアも十分味わえています。

二年前から動脈硬化のお薬をいただいていますがこれというほどのこともなく日常肩こ

りも訴えず一番多く対局できるのを友人どもが羨んでくれています。

私の悩みは不眠症だったのですが枕元に囲碁誌や短歌誌を置いてこれが眠り薬の役をしてくれています。

生死のことは神まかせとしながらも病気の場合のことも考えぬでもありません。そのときには短歌が大きい柱だろうからいますこしましな歌ができるようになりたいとおもっています。

池の面に浮きてはくぐる鳰を数ふ吾は十六君は十八

短歌誌をはじめて吾に貸しくれし野村昇の墓にぬかづく

米田　弘（松山）

一　五九才　四九年退職

二　京都生れの京都育ち、終戦直後四国に渡り松山をふり出しに四県を転々と搬送畑で生きてきました。四十一年から六年間は高知県の報話局、最後の二年間は建設部でお世話になりました。公社卒業後は皆さんの仲間入りをさして貰い、電話機の製造メーカー日本通信工業の販売会社に再就職し松山と高松の営業所をまかせられています。

三　私の健康法

仕事が通信機器の販賣と工事であるためPRとセールスを兼ねて毎日市内を中心に近郊まで一〇軒あまり訪問しています。行く先々は公社関係は勿論電話工事業者・建設業者・電気業者・官公庁・建築設計事務所・一般の商社等とあらゆるところへ足をのばしています。就職と同時にバイクの免許をとりそれで走りまわっているせいか飯が大変おいしく、またよく食べます。

飲む方は高知県で現職時代に飲みすぎたためか、又は年のせいかあまりいけなくなりました。昼間よくとびまわるので夜はぐっすりとよく眠る。そのため体重が増え腹が出っぱって医者から節食するよう云われている次第。

よく働きよく眠り、体重も適当に減らし、毎日元気で今の仕事を続けてゆけば六五才くらいまでは十分やれると考えている。とにかく人間は元気な間は働くこと。これが私の信条であり最高の健康法である。

湊　正男（阿南）

一　六〇才　四七年退職（関西通信建設徳島出張所長）

二　近　況

ういういしい若葉の芽ぶく季節、自然のいとなみの美しさにふれ、ふと感銘をうけるのも老齢のせいでしょうか。公社退職と同時に現在の職場に再就職、腰弁生活から縁がきれず通勤暮らしの日日を繰り返しております。

四〇余年よくきたものだと思います。複雑混迷を深める世相の中で先輩同僚に恵まれ、まずまずの環境にあるのではなかろうかと感謝の気持もチョッピリ。

子供の頃から健康にめぐまれ病気らしい病気もなく、三〇年余り以前に痔の手術をうけて二〇日余り入院した以外は医者のお世話になったこともなく、阿呆息災をつづけています。目下気掛りの一ツは息子の嫁取りの件でなんだかんだと文句が多く親父の威光もとみに落下、のうのうとチョンガー生活を楽しんでいる様子があり困ったことです。今年中には何とか解決したいと考えています。いまだに孫のないのも少し淋しい思いがします。

生来人様にお話しができるような趣味ももたず無趣味が趣味といったところ。盆栽展、美術展などへはよくでかけます。丹精こめた作品をみるのはよいものです。自分でやってみる積極性もなく、ズボラな性格にあきれることもありますがさほど不満があるのでもないので、残された人生を、平平凡凡、ただの人で暮らして行きたいものだと考えております。

木内正一（徳島）

六三才　四六年退職

退職してから五年、その後の仕事からも離れた昨今、外の事にばかり気をとられることの多かったことに、区切りをつける意味もあって昔（戦前）行ったことがあり思い出の深い土地に旅行をしています。

一　月が瀬（奈良）　私は梅の花が子供の頃から好きで昭和四年に当地で見た梅の風情が忘れられない。

一　犬山（愛知）昭和九年軍隊時代二ケ月この地の民家で過した頃の人々とのふれ合いや風物がなつかしかった。

一　妙心寺（京都）十八才の時たまたま参拝した折ある人が小さい佛像をくれた。これは今でも大切に持っている（シベリヤ抑留二ケ年の間も肌身離さず守り通した）

篠浦辰正秋（松山）

一　六一才　四八年退職
二　日常生活
　退職後日本通信建設株式会社松山営業所に勤務、仕事を通じて電信電話事業の発展に協力出来ることをうれしく思っています。お蔭で体も健康に恵ぐまれ、若い頃余り飲めなかったお酒も年と共に多少たしなめる様になり今では会社の同輩との付合酒位は結構楽しんでおります。
三　家族状況
　夫婦と子供四人の大家族でしたがそれぞれ成人し巣立って行き今は二人だけの、のんびりした生活になりました。それでも時々娘が孫達を連れて賑やかしに立替り入替り来てくれますのでこれもまた楽しい日々です
四　趣　味
　公社退職後にと思って在職時に錦松、黒松の苗木を買って枯さぬ様植替の練習を続けて来ました。ようやく枯らさない程度になりこれから芽切り枝造りの勉強をと考えています。
　また去年さつきの挿木をしました。さつきの先輩上田敏春さんに芽を載きさしてみました所七、八〇本若芽が出て来ました。今年は土養いを勉強して鉢にあげたいと思って居ります。
五　健康状態
　お蔭で至極元気です。盆栽いじりや会社の月一回のゴルフコンペには努めて参加して親睦と健康作りの場として楽しんでいます。また畑地を借りて野菜づくりも楽しんでおります。これも私なりの健康法の一つとして休日には土いじりと、戸外に出て日焼けを楽しみにしている毎日です。
　ひな鳥の枝移りしておのが春

植松利秋（高松）

一　七〇才　三八年退職
二　退職後関西通信建設KK・日本電通工業KKに再就職し各種建設工事に従事、仕事の関係上公社によく出入して出て行く都度公社関係の皆様にご親切にして貰ったご好意をつくづくと感謝しています。
　両社を通じて約一〇年間勤務し四九年一月に退社し目下家事の手伝をしながら在職当時の数々の出来ごとを思い浮べて毎日を楽しく過ごしています。
三　妻　二女　三人暮し
四　趣　味　散歩
　早朝に近くを散歩。歩くことが一番の運動と心得て健康保持のため毎日続けて実行し残る人生を永く楽しく過ごしたいと思っています。
五　健康状態　健康
六　その他
　年金も毎年増額され感謝しています。

内原寅吉（松山）

一　五〇、七、三一退職　五七歳
二　四国通信サービス㈱松山支店勤務
三　一女二男、息子は高松、西条でそれぞれ就職しており、妻と娘の三人ぐらし。就職がすんでやれやれと思ったのも束の間、適令期を迎えて悩みはつきせず、一姫二太郎と周囲から祝福された頃がなつかしい——といった心境です。ご縁があったら、どうぞよろしく。
四　あれこれ手を出すので、『お父さんは諺どおりじゃわい』と家族からひやかされます。〝好きこそものの上手なれ〟なら良いのですが、〝下手の横好き〟とは、情なき次第也です。しばらくはゴルフだけにしぼろうと思っているのですが……。
五　至極元気です。寒暑にかかわらずクラブを振っていること、それに、クコとハブ茶を一緒に煎じたのを毎日お茶がわりに飲んでいるのも、役に立っているのだと思います。

原重雄（徳島）

一　五八才　四八年退職
二　川之江電報電話局を最後に退職させて貰い徳島電信電話会館のオープン時から勤めさして頂いている。
三　思うことは子供達と昔話でもというところですが、子供もそれぞれ成長し、家庭をもち、福島市、松山市、伯方町に、それに私が徳島市と皆んなバラバラの生活、それぞれに孫はいるが我家には孫の手と老妻のみ。間をもて余し、手間のかかるものと思い、熱帯魚を飼っている始末。
　会館勤務を終えると、ただ何んとなく老妻の待つ家路へとバスに乗る。バスの乗替に間がある時は、チョクチョク、パチンコも。
　希望としては、春秋二回ぐらいはブロック総会を催して話し合って見たい。

松尾寅雄（松山）

一　四十五年退職
二　四国電話印刷株式会社勤務
三　妻と二人暮し（四月末から昼間だけ孫を預って守りをしています）
四　趣味は多い方で、庭木、盆栽、気が向けば書、絵、俳句、パチンコ、又年一、二回の旅行等々、余暇がいくらでもほしい程で全く退屈していません。
　いつの日か行って見たいと思っていた常夏の島、グワム島へ去る四月初旬、三男のお陰で実現でき嬉しかった。ムウムウ、アロハの新婚さんにまじり、旧婚さんも又味のあるもの　よい冥途の土産となりました。
　空に向く　砲口錆びて椰子の風
　いくさ遠く　砲骨南海の空眠む
五　健康状態は良好、毎日会社まで往復十六粁をバイク通勤、休日も家の中に閉じ込もることなく、無理もせず、できるだけ躯を動かしているので、体重も若い時と変らず標準並、まだまだ手足共衰えていないと自信を持っている積りです。
　知人、先輩が一人減り、二人減り、聞くたびに淋しい思いがしますが、一方孫達の成長を楽しみに、己の老いゆくを忘れている昨今です。

新開勇（徳島）

一　六三才　四八年退職
二　家族状況　妻　長男夫婦と孫
三　日常生活
　古い諺に光陰は矢の如しと申しますように公社に勤めさしてもらっていた時がつい数日前のように思いますが退職してから早幾年月が夢のように過ぎ去りました。在職中ご厚意に預りました皆さん方がなつかしく思い出されます。只今のところまあ平凡ながら何とか無事に過しております。次男と長女が尼崎市に住んでおりますので時々小旅行のつもりで訪問することを楽しみにしております。やはり年をとるにつれ足からまず弱くなるようでこれではと思い近頃妻と毎朝散歩を励行しておりますが早朝の散歩はその日の体調がたいへん良いように思います。
四　趣　味　盆栽、魚釣
　盆栽観賞が好きで盆栽いじりを趣味としておりますが基本的なことは大体わかってきてもなかなかむつかしいもので思うようにいかないものです。また魚釣りも面白いもので時折に潮時を見て出かけますが相手まかせのことですから良い漁の時ばかりもありませんけれど気分転換にはよいものです。こうして無事に余生を送らしていただけることを有難く感謝しつつこれからも有意義な日々を送りたいと思っております。

藤本勝（松山）

一　五九才　五〇年退職
二　妻と長女の三人暮し
三　昨年仲間入りをさせて頂いてはや一年になります。
　交通事故の後遺症で毎日のように首が重く寒さにも弱く頭痛に襲われる日々でしたがそれも六年たちますと幾分うすらいできました。現在電信電話工事協会四国支部で手伝いをさせて貰っております。公社での先輩や同僚のみなさんとも親しくお付合いできることを有難く思っております。
　趣味はこれと云ったものはありませんが日曜大工が唯一の趣味で、廿余年になりますがこれも事故以来根気がなくなりやりかけてもすぐ疲れて投出す始末です。
　折角生命拾いをし、孫達の顔を見ることができたことを無上の喜びとし、その声を電話を通してきき、たまさか妻と共に会いに行くことを楽しみとしてせめて一日でも多く、達者で長生きしたいものだと願っております。

編集後記

　年金も幸い第七七通常国会で満場一致通過成立し七月から増額されることとなりました。いよいよ老人にはこたえる極暑がやってきました。お互に健康に気をつけましょう。
　次の原稿締切は**八月十日**と致します。なつかしい消息や趣味の活動の中で生れた作品のご寄稿をお待ちしています。（玉川）

電友会四国連合会会報　第一五号
昭和五一年七月一日発行
編集発行　電友会四国連合会
事務局
松山市一番町四丁目
四国電気通信局内
電話(〇八九九)三六―二〇二三
印刷　四国電話印刷株式会社